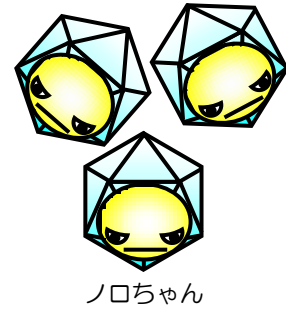


ノロウイルス感染を防ごう！

(汚物のついた衣類の扱い)



ノロウイルスって？

感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。

感染力が非常に強く、ごく少量のウイルスでも口から体内に入ることによって感染します。

感染した人のふん便やおう吐物を介して、他の人へ感染します。

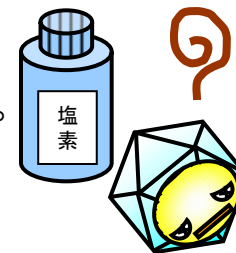
おう吐物、ふん便のついた衣類をクリーニング所で洗濯してもらえますか？

感染症の拡大を防ぐため、おう吐物、ふん便のついた衣類は、クリーニング業法により消毒をしなければなりません。

一般的なクリーニング所では、消毒設備を設けていないため、おう吐物やふん便の付着した衣類を取り扱うことはできません。

家庭で汚物が衣類についてしまったら

汚物がついた衣料を取り扱う際に、手にウイルスが付着し感染を拡大させてしまうことがあります。必ず、ビニール手袋とマスク、エプロンを着用し、汚物が直接皮膚に触れたり、飛まつを吸い込んだりすることのないよう、防護してください。処理後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



消毒手順

- ① 汚物がついた衣類は専用のビニール袋に入れ、周囲を汚染しないようにします。
- ② 汚物を十分に落としてから、塩素系消毒液(0.02%次亜塩素酸ナトリウム)に30~60分間浸すか、85℃で1分間以上になるように熱湯消毒してください。
※塩素系消毒液を用いた消毒は、色落ちしたり布が傷むことがあるので、注意してください。
- ③ 消毒後、他のものと分けて最後に洗濯してください。

次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作り方（原液濃度が6%の場合）

0.02%溶液・・・原液20ミリリットルを、水6リットルに加える。

注意!! 消毒する際、塩素ガスが発生することがあるので、使用時は十分に換気してください。

東京都多摩小平保健所
生活環境安全課環境衛生係
電話 042-450-3111(代表)